

## 第11回看護実践学会学術集会 開催報告

大会長 須釜 淳子（金沢大学新学術創成研究機構）  
副大会長 坂本 二郎（金沢大学新学術創成研究機構）  
開催日 平成29年10月14日（土）・15日（日）  
場 所 金沢大学 宝町キャンパス・鶴間キャンパス  
参加者 640名

平成29年10月14日・15日の二日間、第11回看護実践学会学術集会を開催させていただきました。今回の学術集会は、看護理工学会および国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会との3学会合同学術集会となりました。学術集会のメインテーマを「多分野融合型イノベティブ看護学の躍進」としました。高度化・複雑化する臨床医療現場にあって、患者の療養生活を支援するキーパーソンである看護者に求められる役割は益々重要なものと考えており、多くの専門家たちとの接点を持つことは、医療の質向上に役立つものと推察します。

そこで、学術集会では、海外招聘講演、教育講演をはじめ、シンポジウム4件、理事会企画セミナー2件、オーガナイズドセッション4件を企画し、交流セッション、また実技企画として、超音



大会長 須釜淳子

波診断装置（エコー）を用いたハンズオンセミナーも実施する事ができました。一般演題も100題を越え、全国から600名を超える皆さまに参加をいただきました。多くの皆さまのご協力を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。

本学術集会の企画、運営には、学会理事はじめ、学会事務局の皆さま、関係の皆さまより、多大なるご指導とご支援をいただきました。厚く御礼申し上げます。



海外招聘講演 C.Moffatt先生



交流集会



ハンズオンセミナー